

登録販売者試験

問題集

令和7年版

北海道・東北編

(北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)

◆厚生労働省「試験問題の作成に関する手引き（令和6年4月）」対応

目次

☑ 1. 令和6年度（2024年）	問題	5
	正解&解説	31
☑ 2. 令和5年度（2023年）	問題	38
	正解&解説	64
☑ 3. 令和4年度（2022年）	問題	72
	正解&解説	97
☑ 4. 令和3年度（2021年）	問題	105
	正解&解説	131
☑ 5. 令和2年度（2020年）	問題	139
	正解&解説	164

公論出版

● 本書の使い方 ●

①本書は、各都道府県が行う登録販売者試験のうち、北海道・東北ブロック（北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）で実施された過去5年分（令和6年度～令和2年度）を、年度ごとに「問題」と「正解&解説」にまとめたものです。

②試験問題は、午前60問、午後60問の計120問出題され、その内容は以下の5項目に分かれています。

1. 医薬品に共通する特性と基本的な知識	20問	午前
2. 主な医薬品とその作用	40問	
3. 人体の働きと医薬品	20問	午後
4. 薬事関係法規・制度	20問	
5. 医薬品の適正使用・安全対策	20問	

③試験問題は、厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き」に沿って出題されています。なお、本書は「試験問題の作成に関する手引き」（令和4年3月作成、令和6年4月一部改訂）を元に編集を行っています。令和5年度～令和2年度の問題文に「改」とあるものは、出題時の「試験問題の作成に関する手引き」から改正された内容となり、編集部で試験問題を一部変更していることを表します。また、「**類題**」や「**同問**」の表記については、編集部が問題や選択肢の類似性を判断し付記しています（選択肢の1つでもほぼ同じ内容であるものは類題としている）。

④「正解&解説」には公表されている正解と、出題範囲である「試験問題の作成に関する手引き」を参考に弊社が作成した解説を掲載しています。一問ごと、各選択肢ごとに解説しているため、わからなかった問題や間違ってしまった問題は、解説を参考に繰り返し解いていくことで苦手部分を集中的に学習し、また、関連する事項も合わせて対策をとることができます。問題の左端に付いている は、正しく答えることができたかどうかのチェックマークなどに、活用してください。

※正しい選択肢に関しては、選択肢そのものが答えになる場合、解説を省略しています。



⑤本書発行後「試験問題の作成に関する手引き」の内容に変更があった場合には、公論出版ホームページ（<https://www.kouronpub.com>）にて、本書の内容に関わるものについて掲載します。ご確認ください。また、万が一本書の内容に訂正等が生じた場合も、ホームページにてご案内いたします。

⑥本書の内容でわからないことがありましたら、**必要事項を明記の上**、下記までお問い合わせください。

※お問い合わせは、**本書の内容に限ります**。

※回答までにお時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※必要事項に記載漏れ等があると、お答えできない場合がございます。ご注意ください。

※キャリアメールをご使用の場合、下記メールアドレスの受信設定を行ってからご連絡ください。

令和6年12月 編集部

本書籍に関するお問い合わせ

メール
 お問合せ専用フォーム


FAX
 03-3837-5740

必要事項
以下を必ずご記入ください。
・お客様の氏名とフリガナ
・FAX 番号（FAX の場合のみ）
・書籍名（年版・上巻・下巻など）
・該当ページ数 ・問合せ内容

※電話でのお問い合わせは、受け付けておりません。

● 受験ガイド ●

1. 登録販売者とは

医薬品の販売業務は、薬剤師又は登録販売者でなければ行うことができません。登録販売者は、一般用医薬品のうち、第二類医薬品と第三類医薬品を販売できる資格です。

2. 登録販売者試験の受験資格

学歴、実務経験を問わないため、誰でも受験することができます。

3. 登録販売者試験について

● 試験地

- ①毎年通常1回、各都道府県ごとに実施されます。令和6年度は、以下の8ブロックで行われました。また、年度によりブロックが変更になる場合があります。

[北海道・東北] 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
[北関東・甲信越] 茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟
[南関東] 東京・埼玉・千葉・神奈川
[北陸・東海] 富山・石川・岐阜・静岡・愛知・三重
[奈良]
[関西広域連合・福井] 滋賀・京都・大阪・兵庫・和歌山・徳島・福井
[中国・四国] 島根・鳥取・岡山・広島・山口・香川・愛媛・高知
[九州・沖縄] 福岡・大分・宮崎・鹿児島・熊本・佐賀・長崎・沖縄

- ②試験の日時・場所・申込方法等は、4月以降、各都道府県のホームページ等に掲載されます。
- ③どの都道府県でも受験可能です。また、1つの都道府県で合格すると、勤務地となるどこの都道府県でも販売従事登録を受け、登録販売者として働くことが可能です。
- ※願書提出時点で当該都道府県に在住、通勤又は通学している人の受験に制限される場合があります。ご注意ください。

● 試験出題内容

厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き」から、各ブロックごとに試験問題が出題されます。マークシート方式の筆記試験で、全120問（午前2時間で60問、午後2時間で60問）で、その内訳は次のとおりです。

試験科目	手引き	配点	試験時間
医薬品に共通する特性と基本的な知識 (20問)	1章	20点	午前 (10:30~12:30) 2時間 (120分)
主な医薬品とその作用 (40問)	3章	40点	
人体の働きと医薬品 (20問)	2章	20点	午後 (13:55~15:55) 2時間 (120分)
薬事関係法規・制度 (20問)	4章	20点	
医薬品の適正使用・安全対策 (20問)	5章	20点	
合計 (120問)		120点満点	4時間

● 合格基準

北海道・東北ブロックにおける配点は、1問1点とし、以下2つの基準の両方を満たすと、合格となります。

- | |
|--|
| 1. 総出題数 (120問) に対する正答率が70%以上 (84点以上) であること。 |
| 2. 試験項目ごとの出題数に対する正答率が40%以上 (20点中8点以上、40点中16点以上) であること。 |

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

【1】 医薬品の本質に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 一般用医薬品であっても医療用医薬品と同様に、科学的な根拠に基づく適切な理解や判断によって適正な使用が図られる必要がある。
- b. 医薬品は生命関連製品で、有用性が認められたものであり、使用には保健衛生上のリスクを伴わない。
- c. 医薬品は人の疾病の診断や治療に使用されるものであり、人の疾病の予防には使用されない。
- d. 一般用医薬品は、一般の生活者においては、添付文書や製品表示に記載された内容を見ただけでは、効能効果や副作用等について誤解や認識不足を生じることがある。

1. (a, b) 2. (a, d)
3. (b, c) 4. (c, d)

類題 R5 【1】

【2】 医薬品の本質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 医薬品の市販後は、その有効性や安全性等の確認が行われない。
- b. 検査薬は、検査結果について正しい解釈や判断がなされなければ、適切な治療を受ける機会を失うおそれがある。
- c. 登録販売者は、健康被害の発生の可能性がある場合のみ、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売してはならない。
- d. 登録販売者は、医薬品の有効性、安全性等に関して常に新しい情報の把握に努める必要がある。

- | | a | b | c | d |
|--|---|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3. | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4. | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 5. | 誤 | 誤 | 誤 | 正 |

類題 R4 【1】

【3】 医薬品のリスク評価に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. LD₅₀とは、動物実験により求められる50%致死量のことであり、薬物の毒性の指標として用いられる。
- b. 医薬品の効果とリスクは、用量と作用強度の関係（用量－反応関係）に基づいて評価される。
- c. 少量の医薬品の投与であれば、長期投与されても慢性的な毒性が発現することはない。
- d. ヒトを対象とした臨床試験の実施の基準として、国際的にGood Clinical Practice（GCP）が制定されている。

- | | a | b | c | d |
|--|---|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2. | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3. | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 5. | 正 | 誤 | 正 | 誤 |

類題 R5 【2】・R4 【2】 同問 R4 【2】

【4】 健康食品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 健康増進や維持の助けになることが期待されるいわゆる「健康食品」は、あくまで食品であり、医薬品とは法律上区別される。
- b. 「特定保健用食品」は、身体の生理機能などに影響を与える保健機能成分を含むもので、国の審査を受け許可されたものである。
- c. 「栄養機能食品」は、身体の健全な成長や発達、健康維持に必要な栄養成分（ビタミン、ミネラルなど）の補給を目的としたものである。
- d. 一般用医薬品の販売時に健康食品の摂取の有無について確認することは重要である。

- | | a | b | c | d |
|--|---|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 2. | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 3. | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 5. | 正 | 正 | 正 | 誤 |

類題 R5 【4】・R2 【4】 同問 R4 【3】

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

【1】2 (a, d)

〔解説〕 b. 医薬品は生命関連製品であり、その有用性が認められたものであるが、使用には、保健衛生上のリスクを伴う**ものである**ことに注意が必要である。

c. 医薬品は、人の疾病の診断、治療若しくは**予防**に使用されること、又は人の身体の構造や機能に影響を及ぼすことを目的とする。

【2】3 (a. 誤 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 a. 医薬品は、市販後にも、医学・薬学等の新たな知見、使用成績等に基づき、その有効性、安全性等の確認が**行われる**。

c. 健康被害の発生の可能性の**有無にかかわらず**、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売等してはならない。

【3】1 (a. 正 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 c. 少量の投与でも、長期投与されれば慢性的な毒性が発現する場合**もある**。

【4】1 (a. 正 : b. 正 : c. 正 : d. 正)

【5】4

〔解説〕 4. セルフメディケーション税制の対象となる一般用医薬品は、令和4年1月の見直しにより、スイッチOTC医薬品**以外にも**腰痛や肩こり、風邪やアレルギーの諸症状に対応する一般用医薬品が税制の**対象**となっている。

【6】3 (a. 正 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 c. 普段は医薬品にアレルギーを起こしたことがない人でも、病気等に対する抵抗力が低下している状態などの場合には、医薬品がアレルギーになることがあり、思わぬアレルギーを生じることが**ある**。

【7】2 (a. 誤 : b. 誤 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 a. 人体に直接使用されない医薬品であっても、使用する人の誤解や認識不足によって使い方や判断を誤り、副作用につながる**ことがある**。

b. 解熱鎮痛薬を長期連用すれば、肝臓や腎臓などの医薬品を代謝する器官を傷める可能性**もある**。

c. 一般用医薬品を長期連用することにより、精神的な依存がおこる場合**もある**。

【8】1 (a. 正 : b. 正 : c. 正 : d. 正)

【9】1 (a, b)

〔解説〕 c. 「低下している」⇒「**高まっている**」。

d. 外用薬や注射薬であっても、食品によって医薬品の作用や代謝に影響を受ける可能性**がある**。

【10】4 (a. 正 : b. 誤 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 b. 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が**長く**、服用した医薬品の吸収率が相対的に**高い**。

c. 小児の誤飲・誤用事故を未然に防止するため、家庭内において、小児が容易に手に取れる場所や、小児の目につく場所に医薬品を**置かないように**することが重要である。

【11】5 (a. 誤 : b. 誤 : c. 誤 : d. 誤)

〔解説〕 a. 医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じることをプラセボ効果(偽薬効果)という。

b. 時間経過による自然発生的な変化(自然緩解など)は関与して**いる**と考えられている。

c. プラセボ効果によってもたらされる反応や変化には、望ましいもの(効果)と**不都合なもの(副作用)とがある**。

d. プラセボ効果は、主観的な変化だけでなく、客観的に測定可能な変化として現れることも**ある**が、不確かである。

【12】3

〔解説〕 一般用医薬品は、医薬品医療機器等法において「(a: **医薬品**)のうち、その効能及び効果において人体に対する作用が(b: **著しくない**)ものであって、薬剤師その他の医薬関係者から提供された情報に基づく(c: **需要者**)の選択により使用されることが目的とされているもの(要指導医薬品を除く。)」と定義されている。

【13】3

〔解説〕 3. 医薬品は、適切な保管・陳列がなされたとしても、経時変化による品質の劣化は**避けられない**。

【14】5 (a. 正 : b. 正 : c. 正 : d. 正)

【15】3 (a. 正 : b. 誤 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 b. CJDは、細菌でもウイルスでもない**タンパク質**の一種であるプリオンが原因とされた。

c. 記述の内容に該当するのは**スモン**。CJDは、プリオンが脳の組織に感染し、次第に認知症に類似した症状が現れ、死に至る重篤な神経難病である。

【16】2

〔解説〕 2. **米国では**1960年にアメーバ赤痢への使用に限ることが勧告された。日本では、1970年8月になって、スモンの原因はキノホルムであるとの説が発表され、同年9月に販売が停止された。

【17】3

〔解説〕 HIV訴訟は、血友病患者が、HIVが混入した(a: **原料血漿**)から製造された(b: **血液凝固因子製剤**)の投与を受けたことにより、HIVに感染したことに対する損害賠償訴訟である。

本訴訟の和解を踏まえ、HIV感染者に対する恒久対策のほか、製薬企業に対し従来の副作用報告に加えて(c: **感染症報告**)の義務づけ等を内容とする改正薬事法が成立し、施行された。

【18】1 (a. 正 : b. 誤 : c. 正 : d. 正)

〔解説〕 b. **国**及び製薬企業を被告として、2002年から2007年にかけて、5つの地方裁判所で提訴された。

【19】4 (a. 正 : b. 正 : c. 誤 : d. 誤)

〔解説〕 c. 高熱や激しい腹痛がある場合など、症状が重いつきに一般用医薬品を使用することは、一般用医薬品の役割にかんがみて、適切な対処とはいえない。

d. **乳幼児や妊婦等**では、**通常の成人**の場合に比べ、一般用医薬品で対処可能な症状等の範囲は限られる。

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

【1】 医薬品の本質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 医薬品は、人の疾病の治療若しくは予防に使用されるものであり、疾病の診断のためには使用されない。
- b. 医薬品は、人の身体の構造や機能に影響を及ぼすことを目的とする生命関連製品である。
- c. 医薬品は、市販後にも、医学・薬学等の新たな知見、使用成績等に基づき、その有効性、安全性等の確認が行われる仕組みになっている。
- d. 医薬品は、人の生命や健康に密接に関連するものであるため、高い水準で均一な品質が保証されていなければならない。

	a	b	c	d
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 正	正	正	正
	2. 誤	正	正	正
	3. 正	誤	正	正
	4. 正	正	誤	正
	5. 正	正	正	誤

〔類題〕 R6 【1】・R3 【15】 〔同問〕 R4 【1】

【2】 医薬品のリスク評価に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. ヒトを対象とした臨床試験の実施の基準には、国際的に Good Clinical Practice (GCP) が制定されている。
- b. 医薬品に対しては、製造販売後の調査及び試験の実施の基準として Good Vigilance Practice (GVP) が制定されている。
- c. 薬物用量が治療量上限を超えると、やがて効果よりも有害反応が強く発現する「最小致死量」となり、「中毒量」を経て、「致死量」に至る。
- d. 少量の医薬品の投与でも、発がん作用、胎児毒性や組織・臓器の機能不全を生じる場合がある。

	a	b	c	d
1.	正	誤	正	誤
2.	誤	誤	正	正
3.	正	正	誤	正
4.	正	誤	誤	正
5.	誤	正	正	誤

〔類題〕 R6 【3】・R4 【2】

【3】 医薬品の品質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 医薬品を保管・陳列する場所については、清潔性が保たれるとともに、温度や湿度に留意する必要がある。
- b. 医薬品に表示されている使用期限は、開封・未開封を問わず、製品の品質が保持される期限である。
- c. 品質が承認された基準に適合しない医薬品や、その全部又は一部が変質・変敗した物質から成っている医薬品は販売が禁止されている。
- d. 医薬品は、適切な保管・陳列がなされていれば、経時変化による品質の劣化を生じることはない。

	a	b	c	d
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 正	正	誤	正
	2. 正	誤	正	誤
	3. 誤	正	正	誤
	4. 正	誤	誤	正
	5. 誤	正	正	正

〔類題〕 R6 【13】・R4 【12】・R2 【13】

【4】 健康食品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。〔改〕

- a. いわゆる健康食品は、その多くが摂取しやすいように錠剤やカプセル等の医薬品に類似した形状で販売されている。
- b. 栄養機能食品は、身体の健全な成長や発達、健康維持に必要な栄養成分（ビタミン、ミネラルなど）の補給を目的としたものである。
- c. 古くから特定の食品摂取と健康増進の関連は関心が持たれてきており、「薬（医）食同源」という言葉もある。
- d. 機能性表示食品は、身体の生理機能などに影響を与える保健機能成分を含むもので、個別に（一部は規格基準に従って）特定の保健機能を示す有効性や安全性などに関する国の審査を受け、許可されたものである。

	a	b	c	d
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 正	正	正	正
	2. 誤	正	正	正
	3. 正	誤	正	正
	4. 正	正	誤	正
	5. 正	正	正	誤

〔類題〕 R6 【4】・R3 【4】・R2 【4】

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

【1】2 (a. 誤: b. 正: c. 正: d. 正)

〔解説〕 a. 医薬品は、人の**疾病の診断**、治療若しくは予防に使用される。

【2】4 (a. 正: b. 誤: c. 誤: d. 正)

〔解説〕 b. 「Good Vigilance Practice (GVP)」⇒「**Good Post-marketing Study Practice (GPSP)**」。

c. 治療量上限を超えると、やがて効果よりも有害反応が強ク発現する「**中毒量**」となり、「**最小致死量**」を経て、「**致死量**」に至る。

【3】2 (a. 正: b. 誤: c. 正: d. 誤)

〔解説〕 b. 医薬品に表示されている「**使用期限**」は、**未開封状態**で保管された場合に製品の品質が保持される期限である。

d. 医薬品は、適切な保管・陳列がなされたとしても、経時変化による**品質の劣化は避けられない**。

【4】5 (a. 正: b. 正: c. 正: d. 誤)

〔解説〕 d. 記述の内容は、**特定保健用食品**。機能性表示食品は、事業者の責任で科学的根拠をもとに疾病に罹患していない者の健康維持及び増進に役立つ機能を商品のパッケージに表示するものとして国に届出された商品であるが、国の個別の許可を受けたものではない。

【5】3 (a. 正: b. 誤: c. 正: d. 正)

〔解説〕 b. アレルギーには、**体質的・遺伝的な要素もある**。アレルギーを起こしやすい体質の人や、近い親族にアレルギー体質の人がいる場合には注意が必要である。

【6】2 (a. 正: b. 正: c. 誤: d. 正)

〔解説〕 c. 副作用は、容易に異変を**自覚できるものばかりでなく**、血液や内臓機能への影響等のように、明確な自覚症状として**現れないこともある**。

【7】4 (a. 正: b. 誤: c. 正: d. 誤)

〔解説〕 b. 外用薬や注射薬であっても、食品によって医薬品の作用や代謝に**影響を受ける可能性がある**。

d. 相互作用には、医薬品が**吸収、分布、代謝又は排泄される過程**で起こるものと、医薬品が薬理作用をもたらす部位において起こるものがある。

【8】1 (a. 正: b. 正: c. 正: d. 正)

【9】1

〔解説〕 酒類(アルコール)は、医薬品の吸収や代謝に影響を与えることがある。アルコールは、主として肝臓で代謝されるため、酒類(アルコール)をよく摂取する者では、肝臓の代謝機能が**(a: 高まっている)**ことが多い。その結果、代謝によって産生する物質(代謝産物)に薬効がある医薬品の場合、作用が**(b: 強く出過ぎたり)**、逆に、代謝産物が人体に悪影響を及ぼす医薬品の場合は副作用が**(c: 現れやすく)**なる。

【10】3 (a. 誤: b. 正: c. 誤: d. 正)

〔解説〕 a. 小児は肝臓や腎臓の機能が未発達であるため、医薬品の成分の**代謝・排泄に時間がかかり**、作用が強ク出過ぎたり、副作用がより強ク出ることがある。

c. 保護者等に対し、成人用の医薬品の量を減らして小児へ与えるような安易な使用は避け、必ず年齢に応じた**用法用量が定められているものを使用**するよう説明することが重要である。

【11】2 (a. 正: b. 正: c. 誤: d. 正)

〔解説〕 c. 胎盤には、胎児の血液と母体の血液とが**混ざらない**仕組み(血液-胎盤関門)がある。

【12】2 (a. 誤: b. 誤: c. 正: d. 正)

〔解説〕 a. 登録販売者には、医療機関・薬局で交付された薬剤を使用している人について、一般用医薬品との併用の可否を判断することは困難なことが多く、その薬剤を処方した医師若しくは歯科医師又は調剤を行った薬剤師に相談するよう説明する必要がある。

b. 生活習慣病等の慢性疾患の種類や程度によっては、一般用医薬品を使用することでその**症状が悪化**したり、**治療が妨げられる**こともある。

【13】1

〔解説〕 プラセボ効果は、医薬品を使用したこと自体による**(a: 楽観的な結果への期待)**や、条件付けによる生体反応、時間経過による**(b: 自然発生的な変化)**等が関与して生じると考えられている。

プラセボ効果によってもたらされる反応や変化は不確実であり、それを目的として医薬品が**(c: 使用されるべきではない)**。

【14】3 (a. 誤: b. 正: c. 誤: d. 正)

〔解説〕 a. 一般用医薬品は、その効能及び効果において人体に対する作用が著しくないものであって、薬剤師その他の医薬関係者から提供された情報に基づく**需要者の選択**により使用されることが目的とされているものである。

c. 一般用医薬品で**対処可能な範囲**は、**医薬品を使用する人によって変わってくる**ものである。

【15】1 (a. 正: b. 正: c. 正: d. 正)

【16】4 (a. 誤: b. 誤: c. 正: d. 正)

〔解説〕 a. 特に、肝臓や腎臓の機能が低下していると医薬品の**作用が強ク現れやすく**、若年時と比べて副作用を生じるリスクが高くなる。

b. おおよその目安として**65歳以上**を高齢者としている。

【17】4 (a. 正: b. 誤: c. 誤: d. 正)

〔解説〕 b. サリドマイドの光学異性体のうち、血管新生を妨げる作用はS体のみが有し、鎮静作用はR体のみが有する。サリドマイドが摂取されると、R体とS体は体内で相互に転換するため、R体のサリドマイドを分離して製剤化しても**催奇形性は避けられない**。

c. サリドマイド製剤は、過去に一般用医薬品(催眠鎮静剤等)として販売されていた。

〔人体の働きと医薬品〕

【61】 次の記述は、呼吸器系に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 一般に呼吸器系は、呼吸を行うための器官系で、鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支及び肺からなる。
- b. 肺胞の壁を介して、心臓から送られてくる血液から酸素が肺胞気中に拡散し、代わりに二酸化炭素が血液中の赤血球に取り込まれるガス交換が行われる。
- c. 鼻汁にはリゾチームが含まれ、気道の防御機構の一つとなっている。
- d. 咽頭は、発声器としての役割もあり、呼気で咽頭上部にある声帯を振動させて声が発せられる。

1. (a, b) 2. (a, c)
3. (b, d) 4. (c, d)

類題 R4 【64】 同問 R3 【63】

【62】 肺、心臓及び血管系に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 肺でのガス交換が行われた血液は、心臓の右側部分（右心房、右心室）に入り、そこから全身に送り出される。
- b. 肺自体に肺を動かす筋組織があり、自力で膨らんだり縮んだりする。
- c. 血管壁にかかる圧力（血圧）は、通常、上腕部の静脈で測定される。
- d. 心臓は、心筋でできた握りこぶし大の袋状の臓器で、胸骨の後方に位置する。

- | | a | b | c | d |
|--|---|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2. | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3. | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 4. | 誤 | 誤 | 誤 | 正 |
| 5. | 誤 | 正 | 正 | 正 |

類題 R5 【64】 同問 R5 【64】

【63】 次の記述は、血液に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 血管だけでなく皮膚まで傷ついて血液が体の外に流れ出すことを外出血というのに対し、血液が組織の隙間や器官の内部に流れ込むことを内出血という。
- b. リンパ球は、リンパ節、脾臓等のリンパ組織で増殖し、細菌、ウイルス等の異物を認識するB細胞リンパ球と、それらに対する抗体（免疫グロブリン）を産生するT細胞リンパ球がある。
- c. ヘモグロビンは鉄分と結合したタンパク質で、酸素量の多いところで酸素分子と結合し、酸素が少なく二酸化炭素が多いところで酸素分子を放出する性質がある。
- d. フィブリノゲンは、血液の浸透圧を保持する働きがあるほか、ホルモンや医薬品の成分等と複合体を形成して、それらが血液によって運ばれるときに代謝や排泄を受けにくくする。

1. (a, b) 2. (a, c)
3. (b, d) 4. (c, d)

【64】 泌尿器系に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 副腎髄質では、自律神経系に作用するアドレナリンとノルアドレナリンが産生・分泌される。
- b. 糸球体から1本の尿管が伸びて、腎小体と尿管とで腎臓の基本的な機能単位（ネフロン）を構成している。
- c. 食品から摂取あるいは体内で生合成されたビタミンDは、腎臓で活性型ビタミンDに転換されて、骨の形成や維持の作用を発揮する。
- d. 女性は尿道が短いと、細菌などが侵入したとき膀胱まで感染を生じやすい。

- | | a | b | c | d |
|--|---|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 2. | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3. | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 4. | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 5. | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |

類題 R5 【66】 同問 R5 【66】

〔人体の働きと医薬品〕

【61】2 (a, c)

〔解説〕 b. 肺胞の壁を介して、心臓から送られてくる血液から**二酸化炭素**が肺胞気中に拡散し、代わりに**酸素**が血液中の赤血球に取り込まれるガス交換が行われる。
d. **喉頭**は発声器としての役割もあり、呼吸で**喉頭**上部にある声帯を振動させて声が発せられる。

【62】4 (a. 誤 : b. 誤 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 a. 肺でのガス交換が行われた血液は、心臓の**左側部分(左心房、左心室)**に入り、そこから全身に送り出される。
b. 肺自体には**肺を動かす筋組織がない**ため、自力で膨らんだり、縮んだりすることはできない。
c. 血管壁にかかる圧力(血圧)は、通常、上腕部の**動脈**で測定される。

【63】2 (a, c)

〔解説〕 b. リンパ球は、リンパ節、脾臓等のリンパ組織で増殖し、細菌、ウイルス等の異物を認識する**T細胞リンパ球**と、それらに対する抗体(免疫グロブリン)を産生する**B細胞リンパ球**がある。
d. 記述の内容は、**アルブミン**。フィブリノゲンは、血漿タンパク質の一種で、傷口で重合して線維状の**フィブリン**となる。フィブリン線維に赤血球や血小板などが絡まり合い、血の凝固物(血餅)となって傷口をふさぎ、止血がなされる。

【64】4 (a. 正 : b. 誤 : c. 正 : d. 正)

〔解説〕 b. **ボウマン嚢**から1本の尿管が伸びて、腎小体と尿管とで腎臓の基本的な機能単位(ネフロン)を構成している。

【65】2 (a, d)

〔解説〕 b. 目を使う作業を続けると眼筋の疲労のほか、遠近の焦点調節を行っている**毛様体**の疲労などが起こる。
c. 雪眼炎は、紫外線を含む光に長時間曝されることにより、**角膜**の上皮に損傷を生じることである。

【66】3 (b, d)

〔解説〕 a. 鼻腔に隣接した目と目の間、額部分、頬の下、鼻腔の奥に空洞があり、それらを総称して**副鼻腔**といい、いずれも鼻腔と細い管で**つながっている**。
c. 記述の内容は、**内耳**。中耳は、外耳と内耳をつなぐ部分で、**鼓膜、鼓室、耳小骨、耳管**からなる。

【67】1

〔解説〕 1. メラニン色素は、**表皮**の最下層にあるメラニン産生細胞(メラノサイト)で産生され、太陽光に含まれる紫外線から皮膚組織を防護する役割がある。

【68】1 (a. 正 : b. 誤 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 b. 成長が停止した後も**一生を通じて、破壊(骨吸収)と修復(骨形成)**が行われている。
d. 平滑筋及び心筋は、**自律神経系**に支配されている。

【69】2 (a. 正 : b. 誤 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 b. 経口液剤は、既に有効成分が液中に溶けたり分散したりしているため、服用後、比較的**速やかに**消化管から吸収される。

d. 適用部位を水から遮断したい場合は**軟膏剤**を用いる。クリーム剤は、患部を**水で洗い流したい場合等**に用いる。

【70】3

〔解説〕 交感神経の節後線維の末端から放出される神経伝達物質は(**a : ノルアドレナリン**)であり、副交感神経の節後線維の末端から放出される神経伝達物質は(**b : アセチルコリン**)である。ただし、汗腺を支配する交感神経線維の末端では、例外的に(**b : アセチルコリン**)が伝達物質として放出される。

交感神経が活発になっているときは、瞳孔は(**c : 散大**)し、心拍数は(**d : 増加**)する。

【71】1 (a. 正 : b. 正 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 d. 有効成分が皮膚から浸透して体内の組織で作用する医薬品の場合は、**浸透する量は皮膚の状態、傷の有無**やその程度などによって**影響を受ける**。加齢等により皮膚のみずみずしさが低下すると、有効成分が浸潤・拡散しにくくなる。

【72】3

〔解説〕 3. **中毒性表皮壊死融解症**の症例の多くが**皮膚粘膜眼症候群**の進展型とみられている。

【73】2 (a. 誤 : b. 正 : c. 誤 : d. 誤)

〔解説〕 a. 消化性潰瘍は、**自覚症状が乏しい**場合もあり、貧血症状(動悸や息切れ等)の検査時や突然の吐血・下血によって発見されることもある。
c. イレウス様症状は、小児や高齢者のほか、普段から便秘傾向のある人は、発症のリスクが**高い**。
d. 消化性潰瘍は、胃や十二指腸の粘膜組織が傷害されて、粘膜組織の一部が**粘膜筋板を超えて欠損**する状態である。

【74】4 (c, d)

〔解説〕 a. 気管支又は肺胞が細菌に感染して炎症を生じたものは通常の**肺炎**。間質性肺炎は、肺の中で肺胞と毛細血管を取り囲んで支持している**組織(間質)**が**炎症を起こしたものである**。
b. 症状が一過性に現れ、**自然と回復**することもある。

【75】1

〔解説〕 眼球内の角膜と水晶体の間を満たしている(**a : 眼房水**)が排出されにくくなると、眼圧が(**b : 上昇**)して視覚障害を生じることがある。

例えば、抗コリン作用がある成分が配合された医薬品によって眼圧が(**b : 上昇**)し、眼痛や眼の充血に加え、急激な視力低下を来すことがある。特に眼房水の出口である隅角が狭くなっている閉塞隅角(**c : 緑内障**)がある人では**厳重な注意**が必要である。

【76】4 (a. 正 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 c. 医薬品の使用後1~2週間で起きることが多いが、**長期使用後に現れることもある**。

【77】5 (a. 正 : b. 誤 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 b. 小腸で吸収されたブドウ糖は、血液によって肝臓に運ばれて**グリコーゲン**として蓄えられる。
d. 肝臓では、必須アミノ酸以外のアミノ酸を**生合成**することができる。

登録販売者試験 問題集
令和7年版 北海道・東北編

■ 発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-8
TEL (販売) 03-3837-5745
(編集) 03-3837-5731

■ 定 価 1 8 7 0 円 (税込)

■ 発行日 令和6年12月20日

ISBN978-4-86275-301-4